

**愛媛大学グローバル・スタディーズ・コースの取り組み
—ローカルを大切にしながらグローバルに活躍できる人材づくりを目指して—**

愛媛大学法文学部／総合政策学科／グローバル・スタディーズ・コース

榎林建司・土屋由香

1. コース概要 (配布資料1～4頁参照)
2. カリキュラム (配布資料5～6頁参照)
3. 学生の海外渡航——フィールドワークと海外研修 (配布資料7～9頁、「米国フィールドワーク報告書」参照)
4. 学生の海外渡航を支える学科としての取り組み (パワーポイント参照)
 - ① 海外活動支援チーム
 - ② 学部長裁量経費による「スピーチ・コンテスト」(「スピーチ・コンテスト報告書」参照)
 - ③ 国際GP (学長裁量経費) による交流協定校との交流促進 (2011年度 ネパール・カトマンズ法科大学院、トルコ・チャナッカレ大学日本語学科)

5. これまでの成果と課題

【成果】

- ・モチベーションの高い生き生きとした学生
- ・1学年15人の求心力の高いグループと、先輩・後輩の緊密な関係
- ・グローバル・フェスティバル(12月)における成果発表
- ・海外渡航体験を通じた人間的な成長

【課題】

- ・小さすぎる組織?⇒教員の負担過重。「孤島」にならないように。
- ・学科との連携の強化
- ・全学的な組織改革をいかに図るか・・・?



Think globally, act locally と Thin locally, act globally
「地球規模で考え、地域で行動する」と「地域を見すえて、地球規模で活動する」

お知らせ

- 2012/02/13 日本学術振興会 日韓共同研究「冷戦期日韓におけるアメリカの存在—映像文化と生活世界から見えるアメリカ」(研究代表者: 土屋由香)
- 2012/02/13 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B・研究代表者: 土屋由香)「占領～ポスト占領期のアメリカ広報宣伝／メディア政策—映像とラジオを中心に」シンポジウム「占領する眼・占領する声—CIE／USIS映画とVOAラジオ」
- 2011/12/17 無事、2011年度のグローバルフェスティバルが終了しました。

更新情報

- 2012/01/10 フィールドワークのページにレポート(アメリカ)を追加しました。
- 2012/01/10 フィールドワークのページにレポート(インド・ネパール)を追加しました。

Pick up Information

最先端研究紹介 *infinity*



冷戦期米国の対アジア広報・宣伝政策
アジアと米国の関係はどうか構築されてきたのか
法文学部 教授 土屋由香
専門分野: アメリカ研究・国際関係論



「安全保障論」の講義が、愛媛大学のウェブサイト
の「iReport」で紹介されました
法文学部 准教授 榎林建司
専門分野:

| | | | | | |
|---|---|---|------------|---|---|
| コース概要 <ul style="list-style-type: none"> 4つの特徴 理念と到達目標 | カリキュラム <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム体系 授業科目表 GSCと関係の深い講義の紹介 フィールドワーク | 教員紹介 <ul style="list-style-type: none"> 土屋由香教授 戸澤健次教授 中村則弘教授 榎林建司准教授 | 卒業生 | リンク <ul style="list-style-type: none"> 愛媛大学 法文学部 総合政策学科 公共コース 企業システムコース | その他 <ul style="list-style-type: none"> お問い合わせ サイトマップ 交通アクセス |
|---|---|---|------------|---|---|





コース概要



Think & Act Glocallyな人材の育成を目指して

GSCは、地域(ローカル)を大切にしながら、グローバル社会の一員として、世界の人たちとパートナーシップを結びつつ、よりよい社会を作っていくための学びの場です。GSCが考える、これからの社会に最も必要とされる人材とは、グローバルに考え、行動できる人(Think & Act Glocally)です。グローバルとローカルの関係性。それは例えば、自分の住む町や地域の経済は、グローバル経済とどのようにつながっているのか。アジアのある一地域の平和や安全が、世界の政治や国際関係とどのようにつながっているのか。あるいは世界的な人の移動が、ローカル社会にどのような影響を与えているのか。このような諸問題に関して、地域と世界とをバランス良く見据え、主体的に、具体的に、責任のあるグローバル市民として考え行動する能力。これこそ、GSC学生が身に付けてほしい能力なのです。

コース概要

4つの特徴

理念と到達目標



4つの特徴

GSCのカリキュラムを4つの視点から紹介します。これら全ての要素が絡み合ってGSCのカリキュラムは成り立っています。



理念と到達目標

GSCが掲げる具体的な理念、目標を紹介します。これらはアドミッションポリシーとも密接に関わっています。

| | | | | | |
|--|--|--|-------------------|---|--|
| <p>コース概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 4つの特徴 理念と到達目標 | <p>カリキュラム</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム体系 授業科目表 GSCと関係の深い講義の紹介 フィールドワーク | <p>教員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 土屋由香教授 戸澤健次教授 中村則弘教授 檜林建司准教授 | <p>卒業生</p> | <p>リンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛媛大学 法文学部 総合政策学科 公共コース 企業システムコース 司法コース 地域コース 観光まちづくりコー | <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> お問い合わせ サイトマップ 交通アクセス |
|--|--|--|-------------------|---|--|



コース概要



GSCの4つの特徴

01. 夢の具現化と実現へのスキルアップ



「あなたの夢は何?」「何になりたい?」「何をしたい?」

GSCは、上記のような問いを大切にします。今からでも十分に間に合います。というより、今だからこそ、もう一度自分の夢に目を向け、着実に進んでいけるのです。既に確固とした将来像を持っている人だけでなく、これから探したい人も大歓迎!

同級生と、先輩と、教員と、そして社会の第一線で活躍している人たちと一緒に、世界と地域を見据えながら、将来の夢について考え、スキルアップへの具体的なスケジュールを作り、そして、歩んでいきましょう。

コース概要

4つの特徴

理念と到達目標

02. 主体性重視、そして大学の枠を越えた学習機会



自由課題研究、グローバル・コミュニケーション、講演ラリー は、将来像を模索するため、具体的にスキルアップを目指すために、自らが研究課題を設定し、計画を立て、実施するものです。

自由課題研究は、自分の研究テーマを深めるためのもの、グローバル・コミュニケーションは語学向上や文化交流に取り組むためのもの。そして、講演ラリーは関心ある学内外の講演に積極的に参加し、自らの関心を深めるためのものです。一般のカリキュラムを越えて、自分のスキルを向上させるための主体的な取り組みが、単位として認定されることとなります。

03. 専属の4人の教員、数多くの学習サポーターによるバックアップ

従来のような一人の教員に縛られたゼミと異なり、GSCでは、専属の4人の教員がそれぞれの得意分野から学生ひとりひとりの学習、将来計画等を積極的にバックアップします。また、学内外に張り巡らされたネットワークを駆使して、専属教員で対応の難しい分野や内容についても、さ



さまざまな専門家 や実務家(学習サポーター)からサポートしてもらえる体制を整えています。

もちろん、全ての領域を網羅しているものではありませんが、できる限りみなさんの要望に答えるかたちで、このネットワークは無限に広がっていきます。

04. 海外フィールドワークを中軸に据えた体系的カリキュラム



グローバルな能力としてGSCが重用視するのは、外国語能力と調査・分析能力。これら能力を鍛え、試す機会が、3年生で必修科目として配置されている海外フィールドワークです。この海外フィールドワークの準備として時事外国語、政策ディベートが準備され、また、そこで獲得する情報を分析する技術として各種講義が配置されています。

そして、海外フィールドワークで得た経験や情報を手がかりに、4年生では、学部の学びの総決算として卒業研究に取り組むことになります。

| コース概要 | カリキュラム | 教員紹介 | 卒業生 | リンク | その他 |
|--|---|---|-----|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 4つの特徴 理念と到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム体系 授業科目表 GSCと関係の深い講義の紹介 フィールドワーク | <ul style="list-style-type: none"> 土屋由香教授 戸澤健次教授 中村則弘教授 檜林建司准教授 | | <ul style="list-style-type: none"> 愛媛大学 法文学部 総合政策学科 公共コース 企業システムコース 司法コース 地域コース 観光まちづくりコース | <ul style="list-style-type: none"> お問い合わせ サイトマップ 交通アクセス |

当ページ掲載の画像、文章の無断転載を禁止します。

お問い合わせ先: 愛媛大学法文学部グローバル・スタディーズコース

Copyright (c) 2008-2011 EHIME UNIVERSITY Global Studies Special Course All Rights Reserved.



カリキュラム



カリキュラム体系



- カリキュラム

- [カリキュラム体系](#)

- [授業科目表](#)

- [GSCと関係の深い講義の紹介](#)

- [フィールドワーク](#)

GSCが掲げる目標と理念、そして到達目標に到達するため、上図のようなカリキュラムを用意しています。このカリキュラムに沿ってグローバルな人材の育成に取り組んでいます。

01. 1回生

1回生では、全学部共通に準備されている **共通教育**を通して、学ぶための基本的な姿勢や能力(スタディスキル、ソーシャルスキル)を身につけ、愛媛大学で重視する生命・環境・地域についての基礎的な視点について学習します。

更に、後学期には、GSCで学習するための入門コースとして **国際問題入門**が準備されています。

02. 2回生～3回生

2回生から3回生にかけては、1回生で学んだ基礎的な能力に専門的な能力を積み上げる作業を行っていきます。専門学習は、理念的に4つの領域に講義を分類しています(履修の手引きの分類とは異なっているので注意！)。

まず、理論基礎科目として、政治学、経済学、法律学を学びます。もちろん、全てを学ぶ必要はありません。ただ、GSCは応用学問を重視するため、多くの場合、複数の基礎学問が要求されることになります。

国際状況を理解するためには、応用学問として国際系の専門知識が要求されます。これを学ぶのが、理論応用科目です。GSCの教員以外の「国際」と名の付く学問がそれにあたります。

そして、国際からグローバル、そしてローカルへと視野を広げ、さまざまな事象をグローバルに把握するための専門知識が、国際応用科目にあたります。この科目領域は、GSCの専属教員が受け持ちます。

体験科目に分類されるのは、体験と主体性を重視した科目です。語学能力、ディベート・ディスカッション能力、主体性、そして学習の意義を学び、向上させるユニークな講義が数多く用意されています。

そして、何よりも重要なのが、ゼミナール(演習)です。2回生後学期で4人のGSC教員のうちの1人を選び、よ

り専門的な学習を行うこととなります。

3回生の最も重要なイベント。それは、海外フィールドワークです。海外フィールドワークを実施し得るだけの能力と問題意識をつけるための講義も用意されています。

03. 4回生

4回生は、これまでに学んだ全てを120%出し切って 卒業論文に取り組みます。グローバルな問題意識、卒業後の計画、海外フィールドワークで高めた思い。能力と熱い思いを卒業論文にぶつけます。

| コース概要 | カリキュラム | 教員紹介 | 卒業生 | リンク | その他 |
|---|--|--|-----|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">4つの特徴理念と到達目標 | <ul style="list-style-type: none"><u>カリキュラム体系</u><u>授業科目表</u><u>GSCと関係の深い講義の紹介</u><u>フィールドワーク</u> | <ul style="list-style-type: none"><u>土屋由香教授</u><u>戸澤健次教授</u><u>中村則弘教授</u><u>檜林建司准教授</u> | | <ul style="list-style-type: none"><u>愛媛大学</u><u>法文学部</u><u>総合政策学科</u><u>公共コース</u><u>企業システムコース</u><u>司法コース</u><u>地域コース</u><u>観光まちづくりコース</u> | <ul style="list-style-type: none"><u>お問い合わせ</u><u>サイトマップ</u><u>交通アクセス</u> |

当ページ掲載の画像、文章の無断転載を禁止します。

お問い合わせ先: 愛媛大学法文学部グローバル・スタディーズコース

Copyright (c) 2008-2011 EHIME UNIVERSITY Global Studies Special Course All Rights Reserved.

6



カリキュラム

ネパール連邦民主共和国 海外研修

スケジュール

統括

学生の報告

海外研修

ネパール連邦共和国

トルコ共和国

海外支援チーム



ネパール訪問記

法文学部 総合政策学科 准教授 檜林 建司

8月4日～9日の間、ネパールに滞在した。愛媛大学法文学部総合政策学科のグローバル・スタディーズ・コースの学生5名(3回生1名と2回生4名)を引率しての研修旅行だった。カトマンズ盆地にある世界遺産地区の見学を交えながら、CWIN(ストリートチルドレンへの支援を行っているNGO)、カトマンズ・スクール・オブ・ロー、ラリトブル弁護士会(ラリトブルとは、カトマンズに隣接するパタンの別名)、愛媛大学サテライトオフィス・カトマンズを訪問し、引率した学生も参加して、いろいろな交活動や意見交換などを行った。

私自身、久しぶりの海外渡航でありネパールは初めての国でもあった。しかし、以前に大学院で私が指導教員となったネパール人弁護士が、「恩返し」の域を遙かに超えて、至れり尽くせりの手配をしてくれたので、無事でも有意義な旅行となった。引率した学生も、数々の小さな不便さやトラブル(交通量が多いのに信号や横断歩道がほとんどない、シャワーが壊れる、停電で天井のファンが止まったり部屋の電気が消える、レストラン等のトイレの清潔感が劣る、物売りや物乞いにつきまとわれる、飛行機の出発が1時間以上遅れるなど)に戸惑いを見せつつも、時にはネパールのゆったりした時間の流れを楽しみ、また時には法科大学院生の使命感の強さや能力の高さに驚くなど、今後の成長や学びに結びつく体験を重ねてくれたようだ。

ネパールでは2008年に王制が廃止され、現在の正式国名は、ネパール連邦民主共和国となっている。現在、新憲法の採択作業が行われているが、日本でも時々報道されているようにマオイストと他の政治勢力との間にある対立や不信感は容易には解消せず、先行きは不透明である。弁護士会での意見交換の際、会長から「あなたの専門は平和維持活動だそうだが、そうした観点から見て今のネパールの政治状況をどう評価するか」と問われた。これに対し、私は次のように答えた。

7

ネパールにおいて、イラクやアフガニスタンまたスリランカで見られた大規模な流血が生じていないことに深い関心を持っている。そうした事態が生じていない理由として、『多様性を受け入れる心』と『自分に害を与えた者を許そうする姿勢』が挙げられると思う。今回の短い滞在を通して、この2点がネパールの人々の間にしっかり根付いていると感じた。どちらも、言うのはたやすいが、実行するには往々にして英雄的な努力を必要とする。事実、冷戦終結後とくに9.11同時多発テロ以降、世界の動向はその反対となっている。ネパールが現在の政治問題を平和的に解決することは、世界の平和にとって貴重なメッセージを発信することになる」

できるだけ遠くない将来、再びネパールを訪れたいと願っている。

『しまなみ通信 第10号』掲載

(弁護士法人しまなみ法律事務所発行、2009年10月)

| ■ コース概要 | ■ カリキュラム | ■ 教員紹介 | ■ 卒業生 | ■ リンク | ■ その他 |
|---|--|--|-------|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">◦ 4つの特徴◦ 理念と到達目標 | <ul style="list-style-type: none">◦ カリキュラム体系◦ 授業科目表◦ GSCと関係の深い講義の紹介◦ フィールドワーク | <ul style="list-style-type: none">◦ 土屋由香教授◦ 戸澤健次教授◦ 中村則弘教授◦ 檜林建司准教授 | | <ul style="list-style-type: none">◦ 愛媛大学◦ 法文学部◦ 総合政策学科◦ 公共コース◦ 企業システムコース◦ 司法コース◦ 地域コース◦ 観光まちづくりコース | <ul style="list-style-type: none">◦ お問い合わせ◦ サイトマップ◦ 交通アクセス |

当ページ掲載の画像、文章の無断転載を禁止します。

お問い合わせ先: 愛媛大学法文学部グローバル・スタディーズコース

Copyright (c) 2008-2011 EHIME UNIVERSITY Global Studies Special Course All Rights Reserved.



カリキュラム



中国フィールドワーク

[スケジュール](#)

[統括](#)

[学生の報告](#)



Schedule 2009. 9.1~9

| 日程 | 場所 | 訪問先等 |
|--------|----|----------------------------|
| 9月1日 | 香港 | 香港到着、香港大学訪問、交流 |
| 9月2日 | | 香港大学学生との交流、各自インタビュー調査 |
| 9月3日 | | JETRO香港にてインタビュー、各自インタビュー調査 |
| 9月4日 | | 香港文中大学にて交流会、各自インタビュー調査 |
| 9月5~8日 | | 各自インタビュー調査 |
| 9月9日 | | 各自インタビュー調査、香港大学学生とディスカッション |

引率教員

中村 則弘

参加学生

13名(女性8名、男性5名)(3回生9名、2回生3名、1回生1名)

費用

一人当たり 約10万円(内訳: 国際線チケット 4万円/ 滞在費 3万円)

[カリキュラム](#)

[カリキュラム体系](#)

[授業科目表](#)

[GSCと関係の深い講義の紹介](#)

[フィールドワーク](#)

[フィールドワーク](#)

[アメリカ合衆国](#)

[中華人民共和国](#)

[インド・ネパール](#)

コース概要

- 4つの特徴
- 理念と到達目標

カリキュラム

- カリキュラム体系
- 授業科目表
- GSCと関係の深い講義の紹介

教員紹介

- 土屋由香教授
- 戸澤健次教授
- 中村則弘教授
- 楢林建司准教授

卒業生

リンク

- 愛媛大学
- 法文学部
- 総合政策学科
- 公共コース

その他

- お問い合わせ
- サイトマップ
- 交通アクセス